



女スパイ

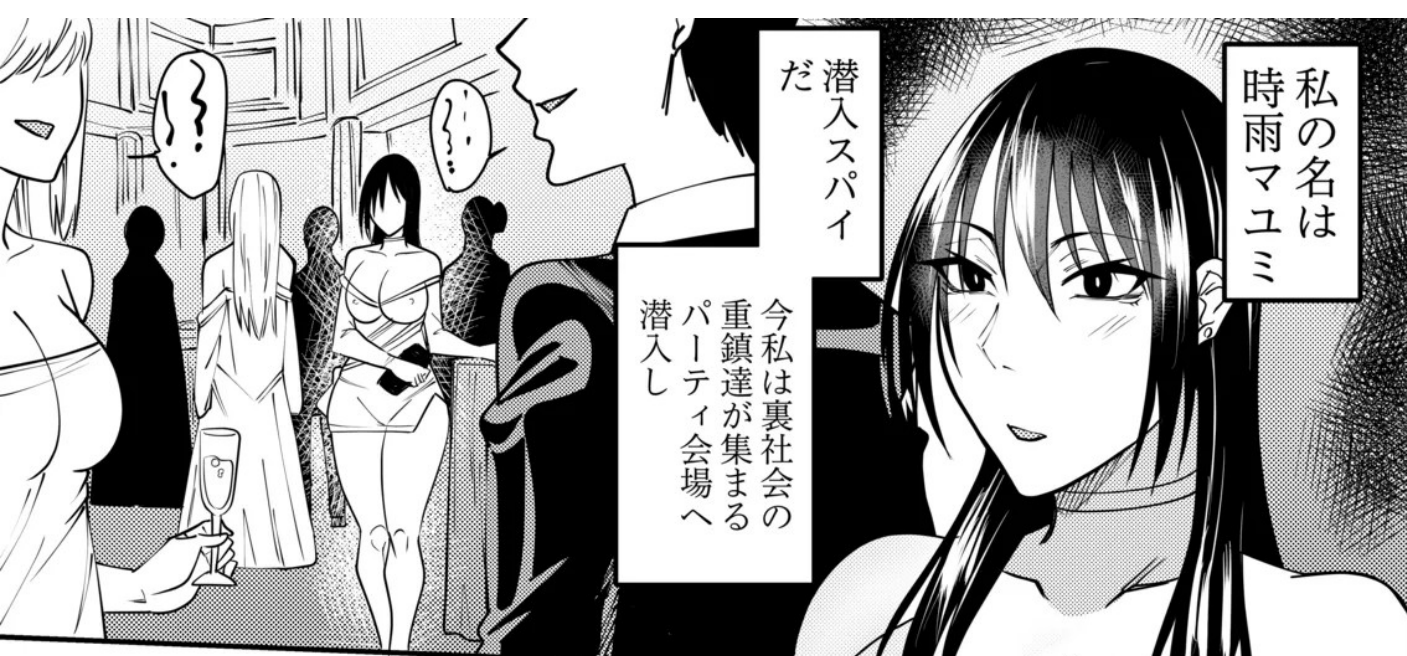
時雨マユミ

チクハラ持ち物検査編

私の名は
時雨マユミ

だ 潜入スパイ

今私は裏社会の
重鎮達が集まる
パーティー会場へ
潜入し



非合法取引の
決定的証拠や
参加者リストを
おさえるため

このパーティーの
開催者である
人物を
探していた

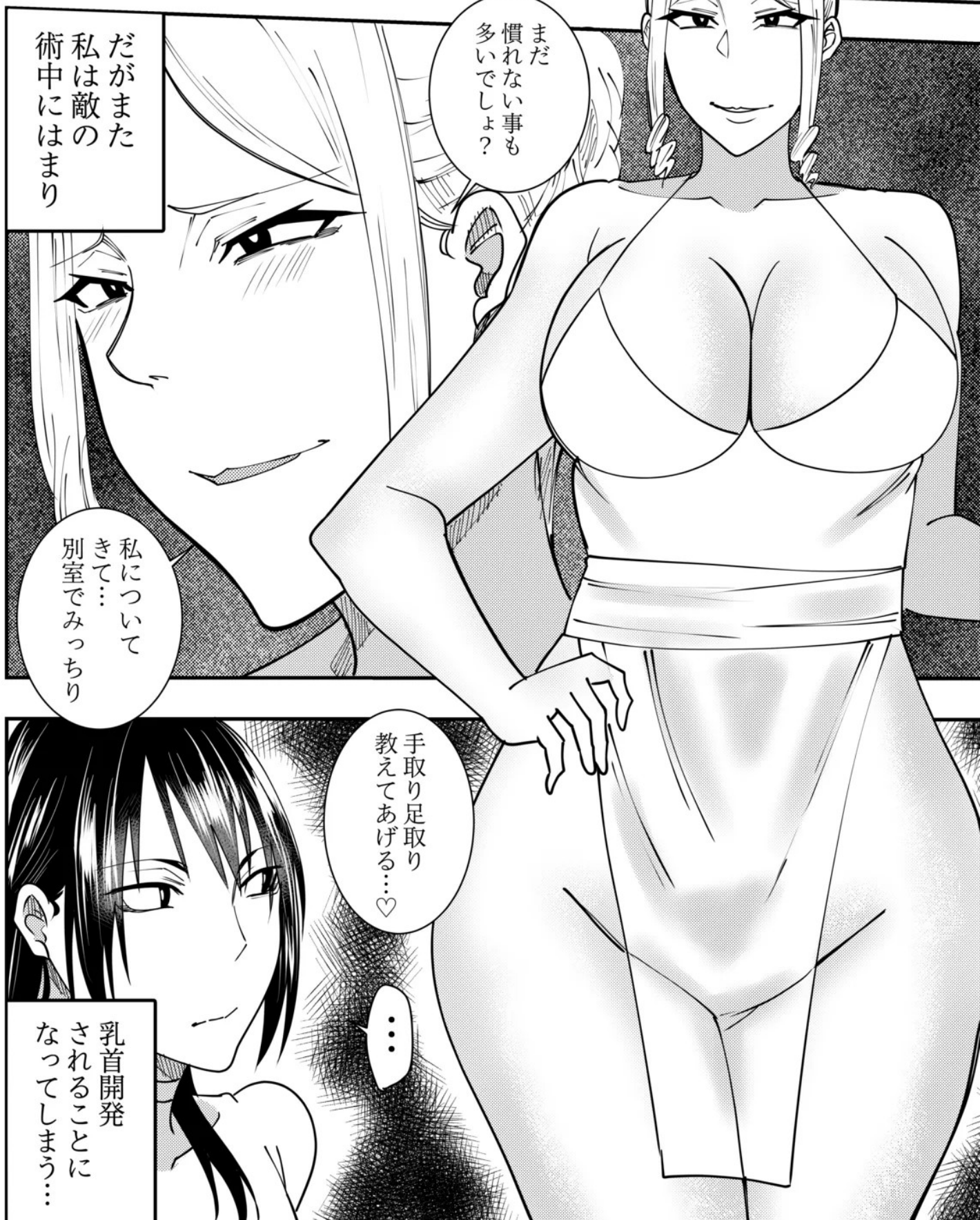


あら？
見ない顔ね

見つけるのは
容易かった

新参者
かしら？

！！



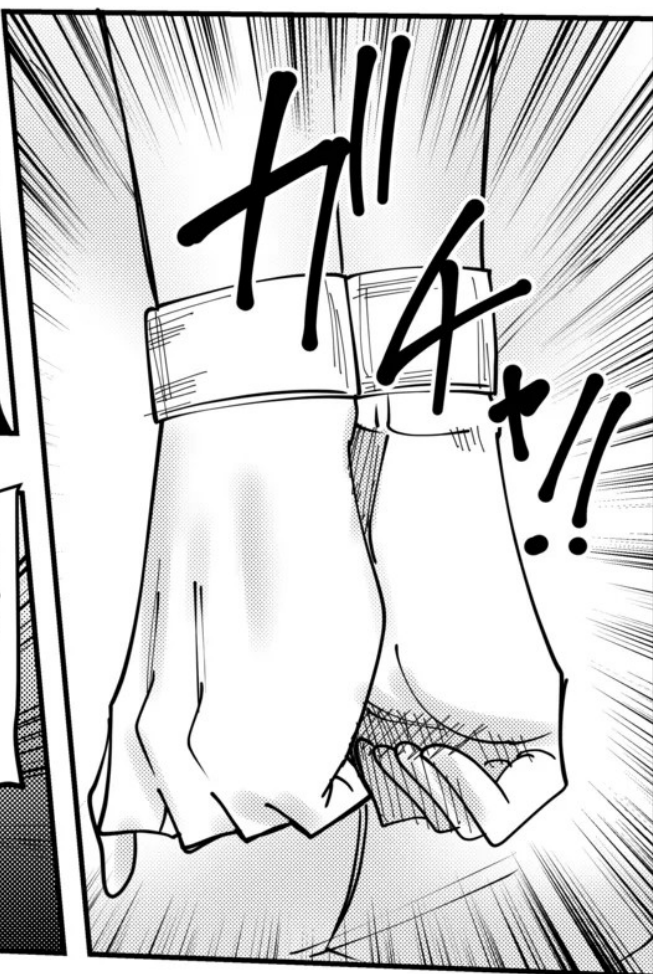
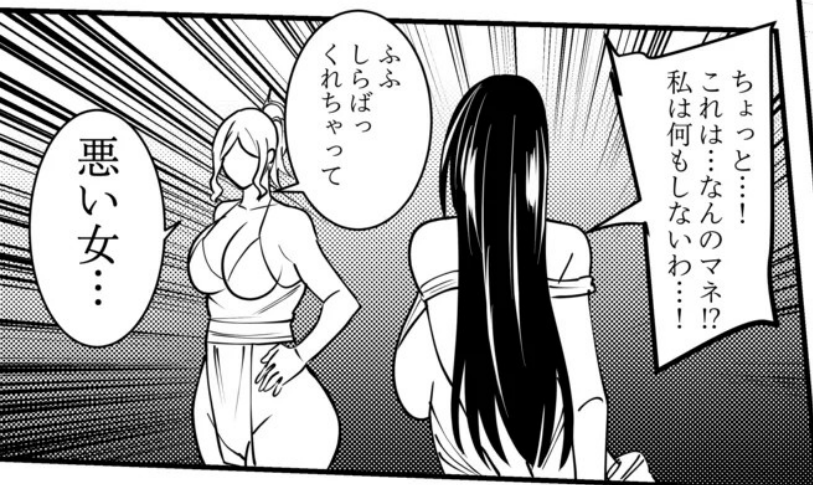
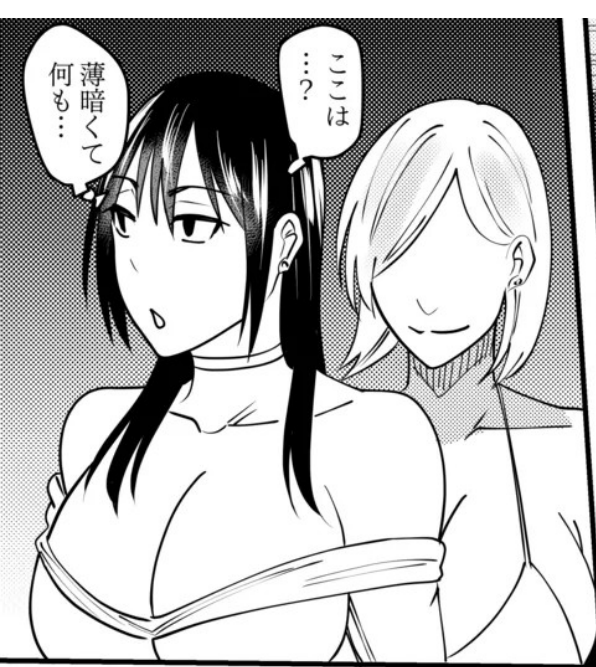
まだ
慣れない事も
多いでしょ？

だがまた
私は敵の
術中にはまり

私について
きて…
別室でみっちり

手取り足取り
教えてあげる…♡

乳首開発
されることにな
ってしまふ…



失策2



アナタが
怪しいものを
持っていないか...

？

さあ
それじゃ

じゅっくり
調べてみま
しょうかね♡

もめっ。

スリ スリ

さあ

さあ

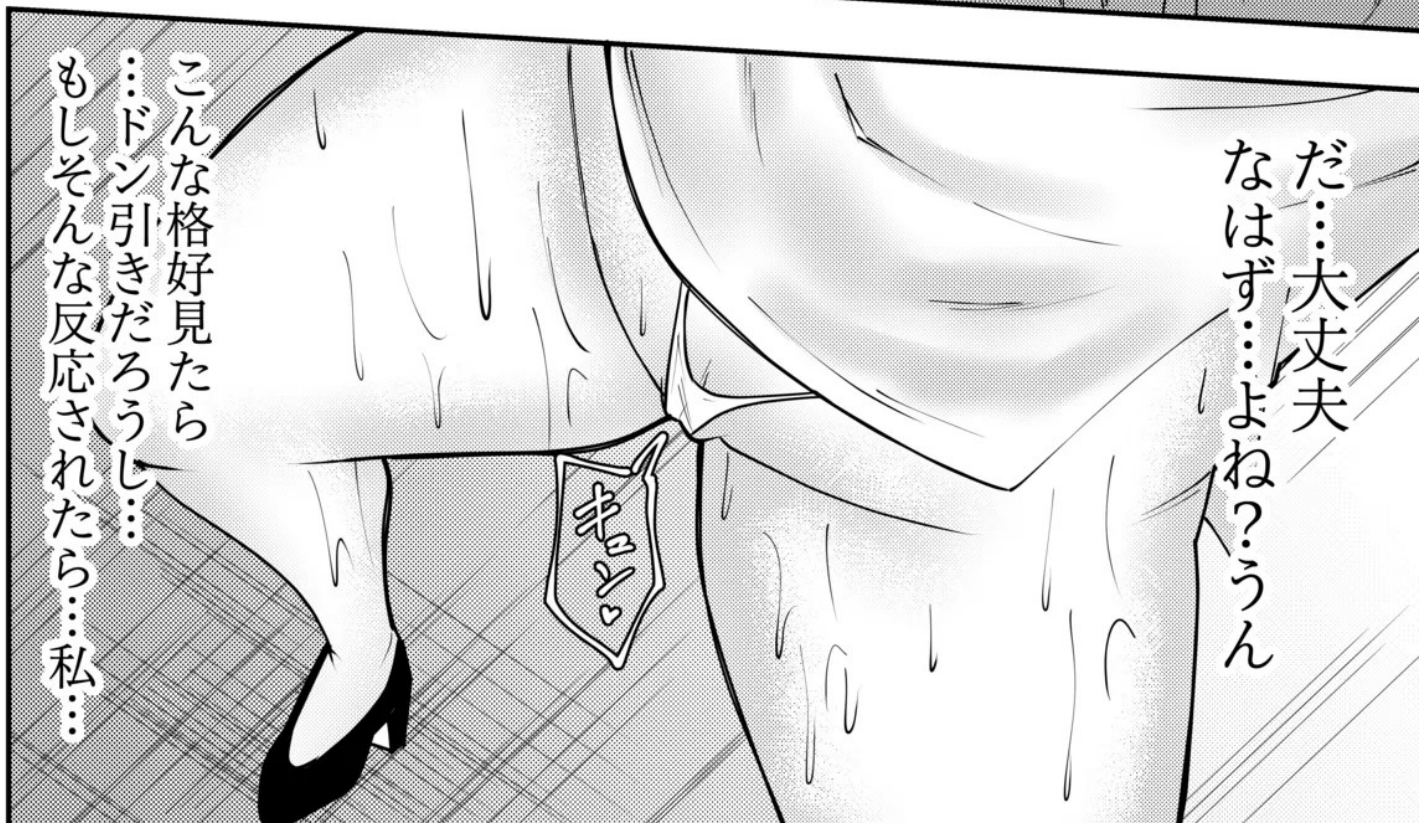
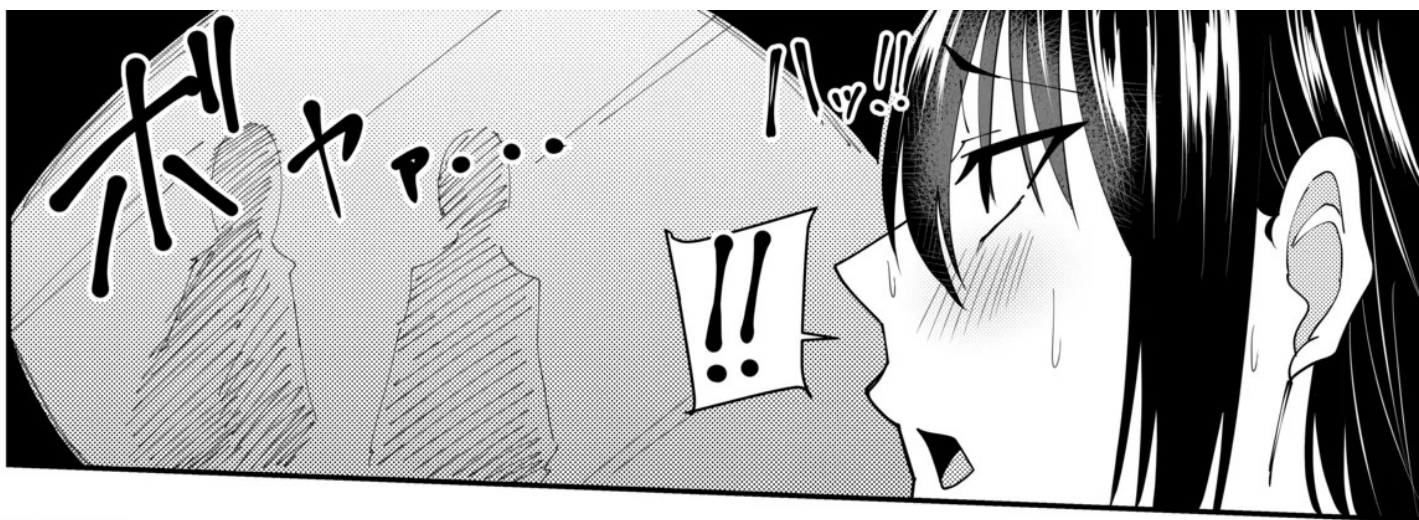
スリ

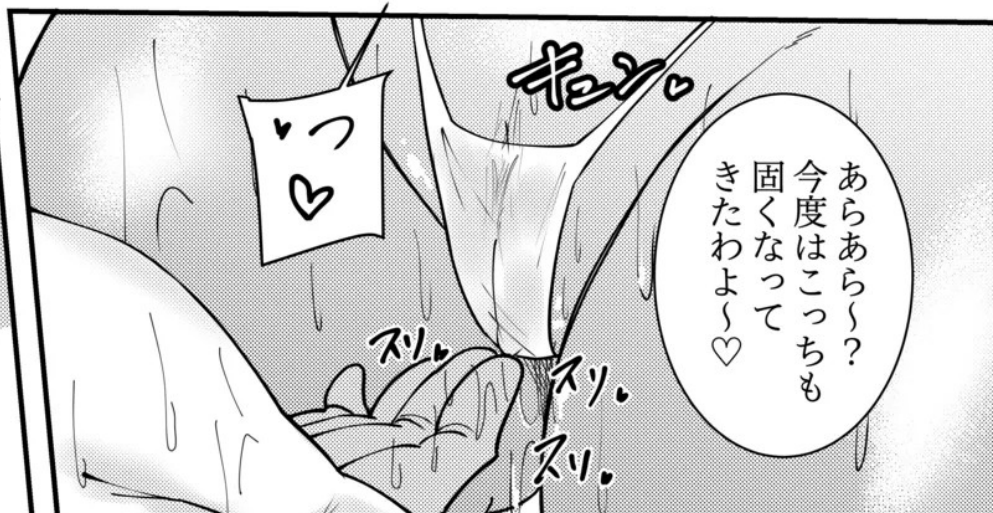
もめっ♡

さあ

さあ









くっ…



まあ
この変態女
…

ブラどころか
ヌーブラすらも
つけてなかった
だなんて♡



乳首快樂調教から
解放された後も

私は…実は

い…言えない



乳首の疼きが止まらなくて

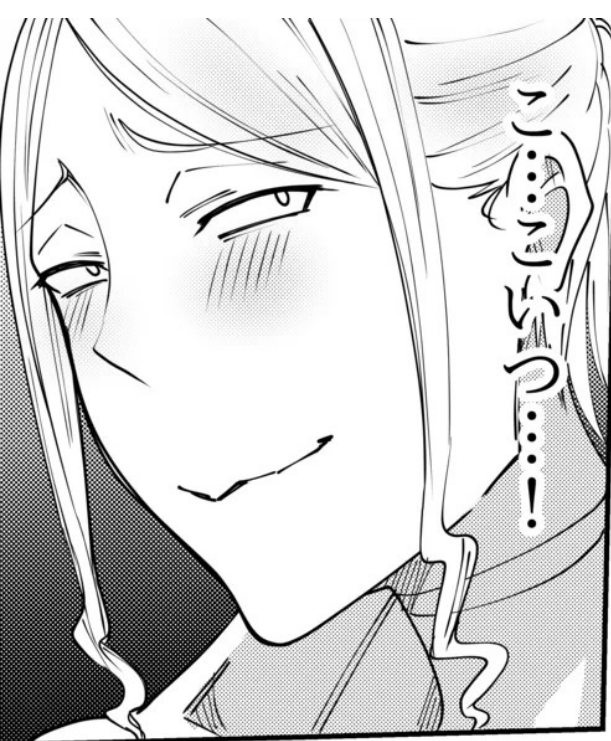
プレイベートでも
ずっとチクニーに
耽る始末だった…



そして
挙句の果てに

外に出る
時でさえ





い……う……い……!



わかってて

アソコで……一番気持ちいいところを……!



!!……う……は

お……

ちゅく。

今触っちゃ……ほんとにだめ!!

ちゅうう。。

ちゅく。

ちゅは。

やめな。

キョ。

りゅ。

りゅ。

いっはっ

オナニーだけじゃ
再現できなかった

クチュ
クチュ

他人に乳首責めされて



快感が頂点に達するあの…絶頂が…!!

いや…ああ

まっ



イクッ

もっ
イクッ

イクイクっ

乳首責め
されてまた

イクッ

いかされちゃう
っっ
っっ
っっ



